

## 検証7 企業会計・特別会計の状況は？

企業会計…病院事業会計で財政健全化法に基づく  
資金不足は解消

### ＜病院事業会計＞

医師不足の中、依然として厳しい経営状況が続いています。そんな中、「市立病院改革プラン」の取組みなどにより、延べ入院患者数は平成21年度に比べ675人増加し、4万8,240人となりました。一方、延べ外来患者数では117人減少し、7万1,908人となりました。

医師確保ならびに救急医療の確保に要する人件費の増額などにより総支出は増えましたが、入院患者の増や外来診療単価の増などにより、医業収益が増加したことや、一般会計からの繰入金が増額されたことにより、平成21年度に比べ改善されました。

なお、平成19年度以来続いていた財政健全化法に基づく資金不足は解消されました。

区分	収入額	支出額	差引額
収益的収支	41億5,631万円	44億7,364万円	-3億1,733万円
資本的収支	3億7,400万円	5億4,100万円	-1億6,700万円

- ▼介護老人保健施設「ゆりの里」…延べ在患者数 15,650人 (+473人)  
延べ通所者数 1,206人 (-392人)
- ▼看護専門学校…総定員 60人 (±0人) 入学者数 23人 (+1人)  
卒業者数 12人 (-2人)

### ＜水道事業会計＞

簡易水道事業を水道事業に編入したことや、平成21年度に減少していた大口需要者の水需要回復などにより水道料金が増収となりました。一方、支出では簡易水道事業の編入による減価償却費などの増加により、平成22年度は2,651万円の損失となりました。

区分	収入額	支出額	差引額
収益的収支	14億7,504万円	15億155万円	-2,651万円
資本的収支	1億5,528万円	6億8,690万円	-5億3,162万円

- ▼給水戸数 29,719戸 (+463戸) ▼年間使用水量 9,951,071 m<sup>3</sup> (+145,037 m<sup>3</sup>) ※水道施設更新事業などに伴い、資本的収支で5億3,162万円の不足額が生じたため、施設や設備更新のための蓄えとなっている「過年度分損益勘定留保資金」などで補てんしました。

- 収益的収支…公営企業の経常的な経営活動で発生する全ての収入や支出
- 資本的収支…公営企業の経営に必要な施設の整備や拡充などの建設改良費の収入や支出 ※ ( ) は平成21年度との比較

### 特別会計…全ての特別会計で黒字

区分	歳入決算額	歳出決算額
住宅新築資金等貸付事業	2,693万円	2,416万円
東山墓園造成事業	8,134万円	7,738万円
農業集落排水事業	7億8,115万円	6億9,690万円
公共下水道事業	20億6,758万円	19億7,095万円
国民健康保険	70億2,571万円	66億7,654万円
老人保健	107万円	80万円
介護保険	46億9,157万円	46億2,831万円
後期高齢者医療	10億9,978万円	10億9,749万円
合計	157億7,513万円	151億7,252万円

## 検証5 市の貯金(基金)残高は？

市の貯金は30億2,086万円(普通会計)

市の貯金である基金の残高は、普通会計でみると30億2,086万円。このうち、年度間の財源の不均衡を調整できる基金が、財政調整基金と減債基金です。これらは合わせて、平成7年度に約43億円の残高がありましたが、市立病院や総合福祉センターなどの開設や税収不足の補てんなどにより減少。平成22年度末の財政調整基金残高は、一時的な法人市民税の増収分6億3,000万円を積み立てたことにより、10億7,749万円となり昨年度より増額しましたが、この法人市民税の増収分を除くと約4億4,700万円で枯渇状態にあります。



## 検証6 市の借金(市債)残高は？

市の借金総額は543億3,125万円



各会計の市債残高を合計すると、543億3,125万円となり、前年度と比較すると5億5,225万円増。市民一人あたり約66万円の負担があることとなります。

ただ、市の借金は、事業を進めていくためにどうしても必要になるものです。道路や公園、下水道などの公共施設は、長年使うため、現在と将来の市民負担を公平にするという考え方があります。もちろん、財政の状況をみながら、適正な計画を立てていく必要があります。

### 各会計別の市債残高(平成22年度末)

- 【一般会計】303億6,224万円
- 【特別会計】住宅新築資金…8,732万円 東山墓園…6,940万円  
農業集落排水…36億891万円 公共下水道…79億6,464万円
- 【企業会計】水道…6億9,646万円 病院…88億1,800万円
- 【伊賀南部環境衛生組合会計(名張市分)】27億2,428万円

## 教えてナッキー

財政を知るキーワード



一般会計・企業会計・

特別会計・普通会計ってな～に？

【一般会計】は、教育や福祉、道路の整備など、行政の基本的な事業を実施していくための会計で、市の会計の中心なんだ。

一方、病院や水道など民間企業と同じように、事業の収益でまかなわれる会計を「企業会計」と言うよ。また、国民健康保険税や介護保険料など特定の収入があって、一般会計と財布を分けることで、収支をはっきりさせる「特別会計」があるんだ。

【普通会計】は、自治体間で財政状況を比較できるように、統一的な基準で整理した会計なんだ。名張市では、一般会計に、住宅新築資金等貸付事業特別会計、東山墓園造成事業特別会計を合わせたものを普通会計としてるんだよ。検証4にある「経常収支比率」は、この普通会計で算出するんだ。